

最上町防災まちづくり計画

《防災まちづくり計画の目標》

『互いの助け合い』の心が広がり、顔の見える安心・安全な最上町

教業学区の歴史あるまちを大切に受け継ぎ、まちの防災性の向上にみんなで取り組み、「『互いの助け合い』の心が広がり、顔の見える安心、安全な最上町」を基本目標に、最上町の防災まちづくりを進めます。

『顔の見える安心、安全な最上町』を目指します

一人ひとりが身近な防災対策に取り組みます



ご近所・町内会みんなで守り、支え合います



顔の見える安心感のある町内会を大切にします



最上町の防災まちづくりの重点的な取組

◎建物の耐震性能、防火性能を高めましょう！

地震時の倒壊を防ぐため、建物の耐震改修を進めましょう！

木造建築物も多いですから、日頃からの防火活動を更に強化しましょう！



◎災害発生時の町内会の取組を強化しましょう！

地域の集合場所、避難ルートを再確認しましょう！

町内会の緊急連絡網について毎年確認しましょう！

町内会で災害発生直後の行動をみんなが理解し、協力することが大切です！



◎袋路での安全な避難確保に取り組みましょう！

行き止まり路地の二方向避難の可能性についてみんなで考えましょう！
安全な避難確保のため、日頃から路地に物をおかないように適正な管理に努めましょう！



◎高齢者等の見守り活動に取り組みましょう！

日頃から高齢者等に声掛けしましょう！

災害時に自力で避難困難な方がおられないか確認を行い、災害時の避難支援について予め決めておきましょう！



◆今、地震が起こつたら！

●地震直後の行動

1. 自分の身を守る
2. 家族に声掛け無事を確認
3. 避難の際に電気ブレーカーを落としガスの元栓を閉鎖
4. 周囲の安全を確認して、隣近所と無事を確認し合います

●地域の集合場所へ

すぐに避難所へ向かうのではなく、地域の集合場所に集まります

●みんなで災害に対処する

1. 声を掛け合って安否確認
2. 閉じ込められた人を力を合わせ、助け出します
3. 火事が起きていたらみんなで消火
4. みんなで避難所へ

■個人及び町内会の防災まちづくりの取組をチェックしましょう！



一人ひとりが、町内会が日頃から備え、それぞれ、防災まちづくりの取組のチェック項目を確認しておきましょう。



●個人の取組チェック項目

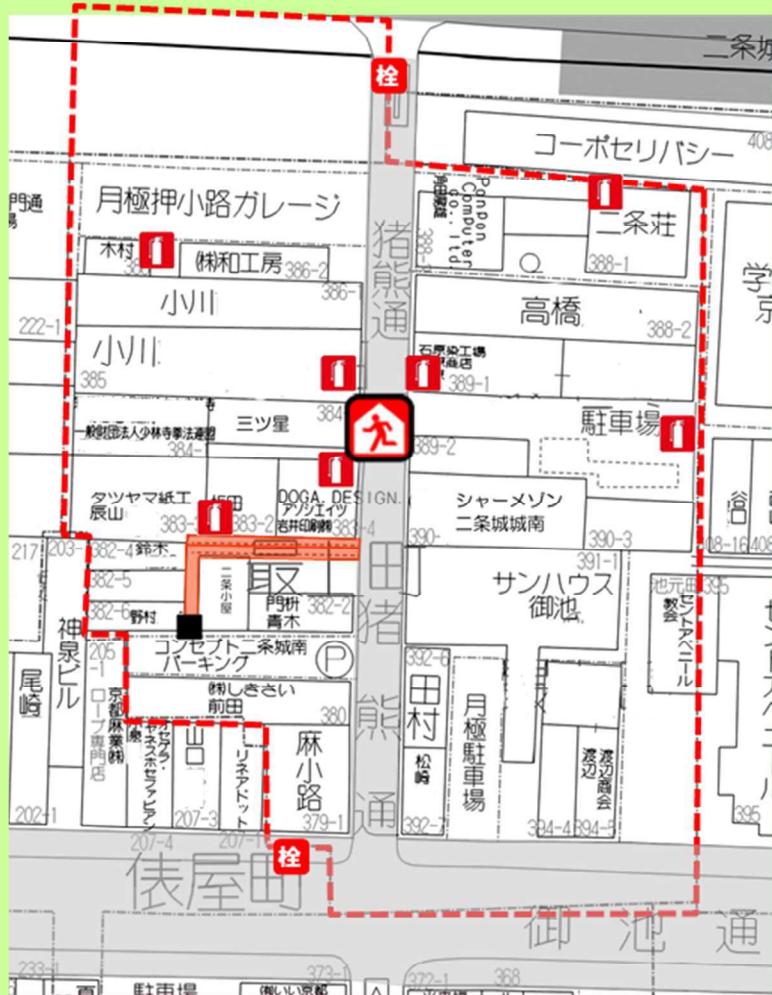
- 日頃から災害への備えをこころがけます
- 自宅の耐震性や防火性能をチェックします
- 緊急時の家族間の連絡方法を決めておきます
- 町内会の防災活動に積極的に協力します
- 路地や道路の適正管理に取り組みます
- ◆日頃から家族で災害の備えを確認します

●町内会の取組チェック項目

- 町内会の防災訓練を定期的に実施します
- 学区の防災活動に積極的に参加します
- 集合場所、避難路の安全性を確認します
- 日頃の防火活動をみんなで取り組みます
- 防災まちづくり計画の点検作業を行います
- ◆町内会の集まりの際に防災取組を確認します

最上町の防災まちづくりに関わる現況図

●毎年、町内の防災まちづくりの現況をチェックして改善状況を確認しましょう！

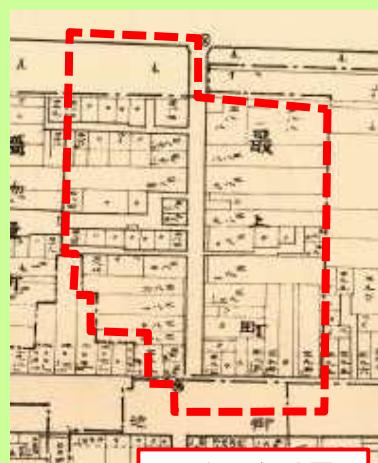


【道路等の状況】

- 幅員4m以上の道路
- 幅員1.8m~4m未満の道
- 幅員1.8m未満の道
- 袋路(突き当りが建物)
- 袋路(突き当りが塀)
- 袋路(突き当りがドア)
- トンネル路地

【緊急時のための設備】

- 地域の集合場所
- 消火器
- 消火栓



昭和2年地図

●防災まちづくりの視点で、まちの変化を見守りましょう！



俵屋町防災まちづくり計画

《防災まちづくり計画の目標》

『互いの助け合い』の心が広がり、顔の見える安心・安全な俵屋町

教業学区の歴史あるまちを大切に受け継ぎ、まちの防災性の向上にみんなで取り組み、「『互いの助け合い』の心が広がり、顔の見える安心、安全な俵屋町」を基本目標に、俵屋町の防災まちづくりを進めます。

『顔の見える安心、安全な俵屋町』を目指します

一人ひとりが身近な防災対策に取り組みます



ご近所・町内会
みんなで守り、支え合います



顔の見える安心感のある町内会を大切にします



俵屋町の防災まちづくりの重点的な取組

◎建物の耐震性能、防火性能を高めましょう！

地震時の倒壊を防ぐため、建物の耐震改修を進めましょう！

木造建築物が多いですから、日頃からの防火活動を更に強化しましょう！



◎災害発生時の町内会の取組を強化しましょう！

地域の集合場所、避難ルートを再確認しましょう！

町内会の緊急連絡網について毎年確認しましょう！

町内会で災害発生直後の行動をみんなが理解し、協力することが大切です！



◎高齢者等の見守り活動に取り組みましょう！

日頃から高齢者等に声掛けしましょう！

災害時に自力で避難困難な方がおられないか確認を行い、災害時の避難支援について予め決めておきましょう！



◆今、地震が起こつたら！

●地震直後の行動

1. 自分の身を守る
2. 家族に声掛け無事を確認
3. 避難の際に電気ブレーカーを落としガスの元栓を閉鎖
4. 周囲の安全を確認して、隣近所と無事を確認し合います

●地域の集合場所へ

すぐに避難所へ向かうのではなく、地域の集合場所に集まります

●みんなで災害に対処する

1. 声を掛け合って安否確認
2. 閉じ込められた人を力を合わせ、助け出します
3. 火事が起きていたらみんなで消火
4. みんなで避難所へ

■個人及び町内会の防災まちづくりの取組をチェックしましょう！



一人ひとりが、町内会が日頃から備え、それぞれ、防災まちづくりの取組のチェック項目を確認しておきましょう。



●個人の取組チェック項目

- 日頃から災害への備えをこころがけます
 - 自宅の耐震性や防火性能をチェックします
 - 緊急時の家族間の連絡方法を決めておきます
 - 町内会の防災活動に積極的に協力します
- ◆日頃から家族で災害の備えを確認します

●町内会の取組チェック項目

- 町内会の防災訓練を定期的に実施します
 - 学区の防災活動に積極的に参加します
 - 集合場所、避難路の安全性を確認します
 - 日頃の防火活動をみんなで取り組みます
 - 防災まちづくり計画の点検作業を行います
- ◆町内会の集まりの際に防災取組を確認します

俵屋町の防災まちづくりに関わる現況図

●毎年、町内の防災まちづくりの現況をチェックして改善状況を確認しましょう！

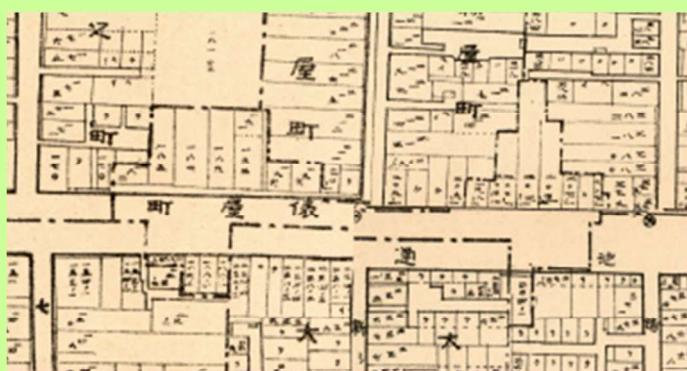


【道路等の状況】

- 幅員4m以上の道路
- 幅員1.8m~4m未満の道
- 幅員1.8m未満の道
- 袋路(突き当りが建物)
- 袋路(突き当りが塀)
- 袋路(突き当りがドア)
- トンネル路地

【緊急時のための設備】

- 地域の集合場所
- 消火器
- 栓



昭和2年地図

織物屋町防災まちづくり計画

《防災まちづくり計画の目標》

『互いの助け合い』の心が広がり、顔の見える安心・安全な織物屋町

教業学区の歴史あるまちを大切に受け継ぎ、まちの防災性の向上にみんなで取り組み、「『互いの助け合い』の心が広がり、顔の見える安心、安全な織物屋町」を基本目標に、織物屋町の防災まちづくりを進めます。

『顔の見える安心、安全な織物屋町』を目指します

一人ひとりが身近な防災対策に取り組みます



ご近所・町内会みんなで守り、支え合います



顔の見える安心感のある町内会を大切にします



織物屋町の防災まちづくりの重点的な取組

◎災害発生時の町内会の取組を強化しましょう！

地域の集合場所、避難ルートを再確認しましょう！

町内会の緊急連絡網について毎年確認しましょう！

町内会で災害発生直後の行動をみんなが理解し、協力することが大切です！



◎町内に立地するマンションと災害時の協力を検討しましょう

町内に立地するマンション等と災害時の協力を検討しましょう！



◎高齢者等の見守り活動に取り組みましょう！

日頃から高齢者等に声掛けしましょう！

災害時に自力で避難困難な方がおられないか確認を行い、災害時の避難支援について予め決めておきましょう！



◆今、地震が起こつたら！

●地震直後の行動

- 自分の身を守る
- 家族に声掛け無事を確認
- 避難の際に電気ブレーカーを落としガスの元栓を閉鎖
- 周囲の安全を確認して、隣近所と無事を確認し合います

●地域の集合場所

すぐに避難所へ向かうのではなく、地域の集合場所に集まります

●みんなで災害に対処する

- 声を掛け合って安否確認
- 閉じ込められた人を力を合わせ、助け出します
- 火事が起きていたらみんなで消火
- みんなで避難所へ

■個人及び町内会の防災まちづくりの取組をチェックしましょう！



一人ひとりが、町内会が日頃から備え、それぞれ、防災まちづくりの取組のチェック項目を確認しておきましょう。



●個人の取組チェック項目

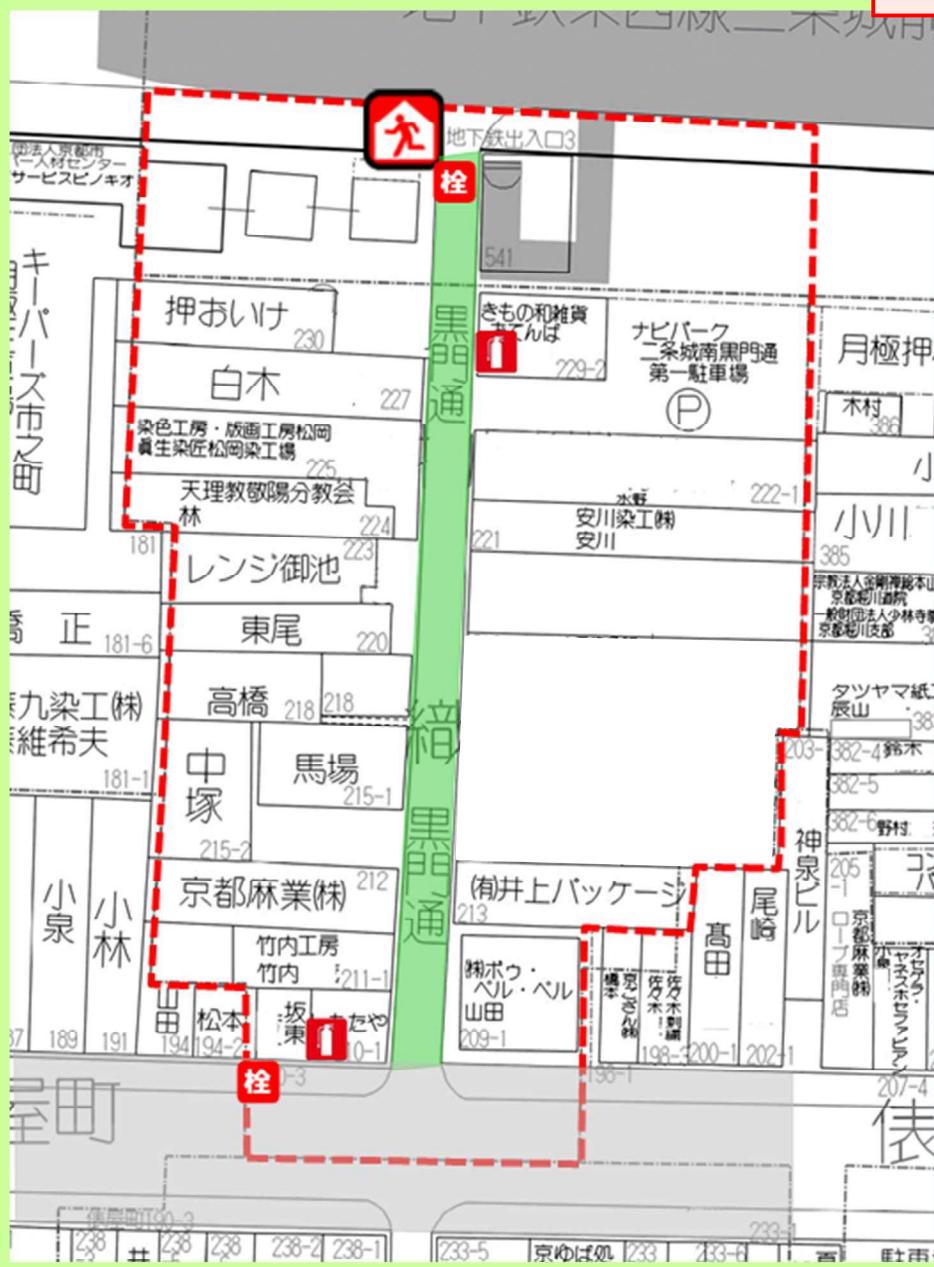
- 日頃から災害への備えをこころがけます
- 自宅の耐震性や防火性能をチェックします
- 緊急時の家族間の連絡方法を決めておきます
- 町内会の防災活動に積極的に協力します
- 道路の適正管理に取り組みます
- ◆日頃から家族で災害の備えを確認します

●町内会の取組チェック項目

- 町内会の防災訓練を定期的に実施します
- 学区の防災活動に積極的に参加します
- 集合場所、避難路の安全性を確認します
- 日頃の防火活動をみんなで取り組みます
- 防災まちづくり計画の点検作業を行います
- ◆町内会の集まりの際に防災取組を確認します

織物屋町の防災まちづくりに関わる現況図

●毎年、町内の防災まちづくりの現況をチェックして改善状況を確認しましょう！



【道路等の状況】

- 幅員4m以上の道路
- 幅員1.8m~4m未満の道
- 幅員1.8m未満の道
- 袋路(突き当りが建物)
- 袋路(突き当りが塀)
- 袋路(突き当りがドア)
- トンネル路地

【緊急時のための設備】

- 地域の集合場所
- 消火器
- 消火栓



昭和2年地図

市之町防災まちづくり計画

《防災まちづくり計画の目標》

『互いの助け合い』の心が広がり、顔の見える安心・安全な市之町

教業学区の歴史あるまちを大切に受け継ぎ、まちの防災性の向上にみんなで取り組み、「『互いの助け合い』の心が広がり、顔の見える安心、安全な市之町」を基本目標に、市之町の防災まちづくりを進めます。

『顔の見える安心、安全な市之町』を目指します

一人ひとりが身近な防災対策に取り組みます



ご近所・町内会みんなで守り、支え合います



顔の見える安心感のある町内会を大切にします



市之町の防災まちづくりの重点的な取組

◎建物の耐震性能、防火性能を高めましょう！

地震時の倒壊を防ぐため、建物の耐震改修を進めましょう。

木造建築物が多いですから、日頃からの防火活動を更に強化しましょう！



◎災害発生時の町内会の取組を強化しましょう！

地域の集合場所、避難ルートを再確認しましょう！

町内会の緊急連絡網について毎年確認しましょう！

町内会で災害発生直後の行動をみんなが理解し、協力することが大切です！



◎袋路での安全な避難確保に取り組みましょう！

行き止まり路地の二方向避難の可能性についてみんなで考えましょう！

安全な避難確保のため、日頃から路地に物をおかないように適正な管理に努めましょう。



◎高齢者等の見守り活動に取り組みましょう！

日頃から高齢者等に声掛けしましょう！

災害時に自力で避難困難な方がおられないか確認を行い、災害時の避難支援について予め決めておきましょう！



◆今、地震が起こつたら！

●地震直後の行動

- 自分の身を守る
- 家族に声掛け無事を確認
- 避難の際に電気ブレーカーを落としガスの元栓を閉鎖
- 周囲の安全を確認して、隣近所と無事を確認し合います

●地域の集合場所へ

すぐに避難所へ向かうのではなく、地域の集合場所に集まります

●みんなで災害に対処する

- 声を掛け合って安否確認
- 閉じ込められた人を力を合わせ、助け出します
- 火事が起きていたらみんなで消火
- みんなで避難所へ

■個人及び町内会の防災まちづくりの取組をチェックしましょう！



一人ひとりが、町内会が日頃から備え、それぞれ、防災まちづくりの取組のチェック項目を確認しておきましょう。



●個人の取組チェック項目

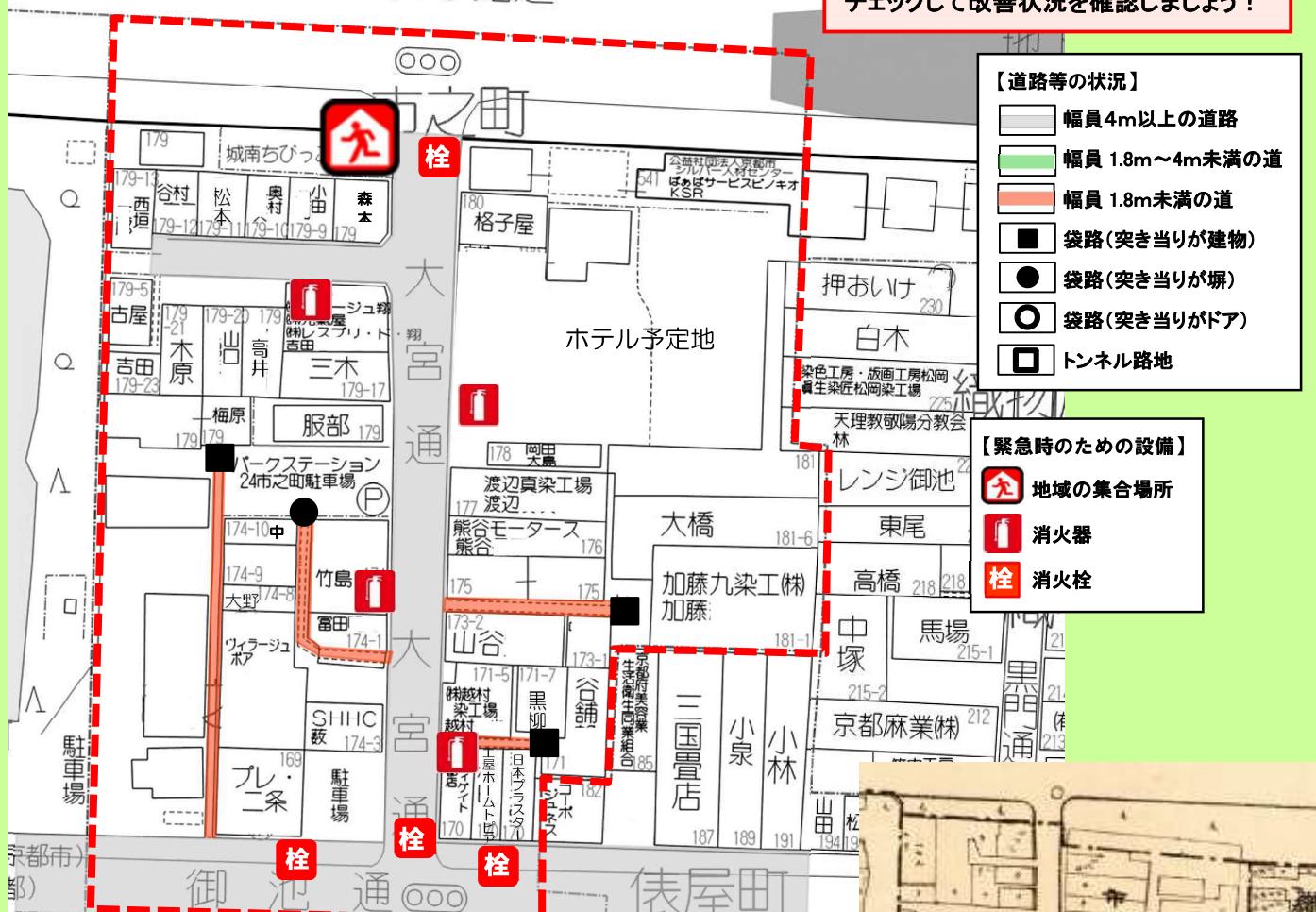
- 日頃から災害への備えをこころがけます
- 自宅の耐震性や防火性能をチェックします
- 緊急時の家族間の連絡方法を決めておきます
- 町内会の防災活動に積極的に協力します
- 路地や道路の適正管理に取り組みます
- ◆日頃から家族で災害の備えを確認します

●町内会の取組チェック項目

- 町内会の防災訓練を定期的に実施します
- 学区の防災活動に積極的に参加します
- 集合場所、避難路の安全性を確認します
- 日頃の防火活動をみんなで取り組みます
- 防災まちづくり計画の点検作業を行います
- ◆町内会の集まりの際に防災取組を確認します

市之町の防災まちづくりに関わる現況図

●毎年、町内の防災まちづくりの現況をチェックして改善状況を確認しましょう！



●防災まちづくりの視点で、まちの変化を見守りましょう！



門前町防災まちづくり計画

《防災まちづくり計画の目標》

『互いの助け合い』の心が広がり、顔の見える安心・安全な門前町

教業学区の歴史あるまちを大切に受け継ぎ、まちの防災性の向上にみんなで取り組み、「『互いの助け合い』の心が広がり、顔の見える安心、安全な門前町」を基本目標に、門前町の防災まちづくりを進めます。

『顔の見える安心、安全な門前町』を目指します

一人ひとりが身近な防災対策に取り組みます



ご近所・町内会みんなで守り、支え合います



顔の見える安心感のある町内会を大切にします



門前町の防災まちづくりの重点的な取組

◎建物の耐震性能、防火性能を高めましょう！

地震時の倒壊を防ぐため、建物の耐震改修を進めましょう！

木造建築物が多いですから、日頃からの防火活動を更に強化しましょう！



◎災害発生時の町内会の取組を強化しましょう！

地域の集合場所、避難ルートを再確認しましょう！

町内会の緊急連絡網について毎年確認しましょう！

町内会で災害発生直後の行動をみんなが理解し、協力することが大切です！



◎高齢者等の見守り活動に取り組みましょう！

日頃から高齢者等に声掛けしましょう！

災害時に自力で避難困難な方がおられないか確認を行い、災害時の避難支援について予め決めておきましょう！



◎神泉苑と町内会で災害時の協力を協議しておきましょう！

神泉苑と一緒に町内会です。災害時の協力について事前に協議しておきましょう。



◆今、地震が起こつたら！

●地震直後の行動

- 自分の身を守る
- 家族に声掛け無事を確認
- 避難の際に電気ブレーカーを落としガスの元栓を閉鎖
- 周囲の安全を確認して、隣近所と無事を確認し合います

●地域の集合場所へ

すぐに避難所へ向かうのではなく、地域の集合場所に集まります

●みんなで災害に対処する

- 声を掛け合って安否確認
- 閉じ込められた人を力を合わせ、助け出します
- 火事が起きていたらみんなで消火
- みんなで避難所へ

■個人及び町内会の防災まちづくりの取組をチェックしましょう！



一人ひとりが、町内会が日頃から備え、それぞれ、防災まちづくりの取組のチェック項目を確認しておきましょう。



●個人の取組チェック項目

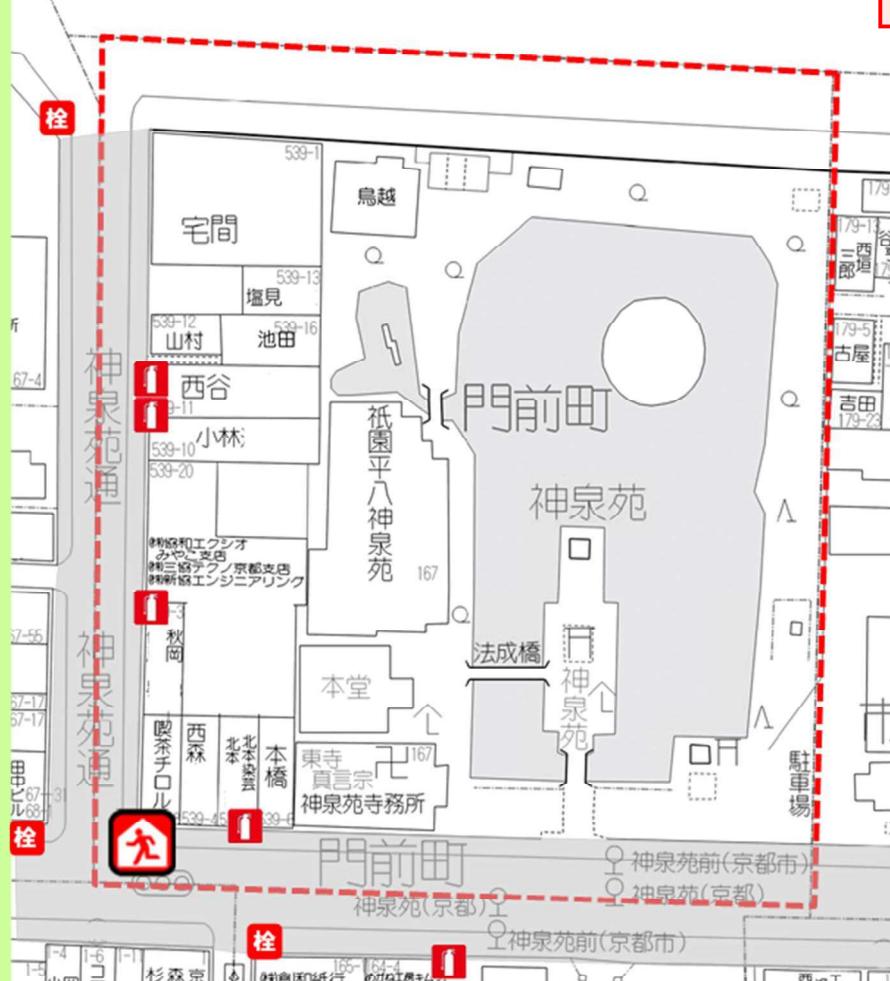
- 日頃から災害への備えをこころがけます
- 自宅の耐震性や防火性能をチェックします
- 緊急時の家族間の連絡方法を決めておきます
- 町内会の防災活動に積極的に協力します
- ◆日頃から家族で災害の備えを確認します

●町内会の取組チェック項目

- 町内会の防災訓練を定期的に実施します
- 学区の防災活動に積極的に参加します
- 集合場所、避難路の安全性を確認します
- 日頃の防火活動をみんなで取り組みます
- 防災まちづくり計画の点検作業を行います
- ◆町内会の集まりの際に防災取組を確認します

門前町の防災まちづくりに関わる現況図

●毎年、町内の防災まちづくりの現況をチェックして改善状況を確認しましょう！

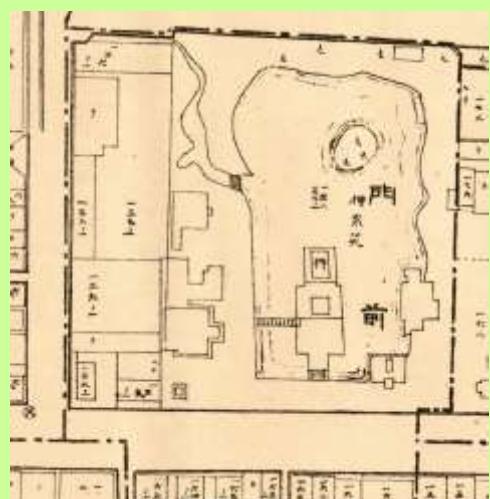


【道路等の状況】

- 幅員4m以上の道路
- 幅員1.8m~4m未満の道
- 幅員1.8m未満の道
- 袋路(突き当りが建物)
- 袋路(突き当りが塀)
- 袋路(突き当りがドア)
- トンネル路地

【緊急時のための設備】

- ▲ 地域の集合場所
- 消火器
- 栓 消火栓



昭和2年地図



池元町防災まちづくり計画

《防災まちづくり計画の目標》

『互いの助け合い』の心が広がり、顔の見える安心・安全な池元町

教業学区の歴史あるまちを大切に受け継ぎ、まちの防災性の向上にみんなで取り組み、「『互いの助け合い』の心が広がり、顔の見える安心、安全な池元町」を基本目標に、池元町の防災まちづくりを進めます。

『顔の見える安心、安全な池元町』を目指します

一人ひとりが身近な防災対策に取り組みます



ご近所・町内会みんなで守り、支え合います



顔の見える安心感のある町内会を大切にします



池元町の防災まちづくりの重点的な取組

◎災害発生時の町内会の取組を強化しましょう！

地域の集合場所、避難ルートを再確認しましょう！

町内会の緊急連絡網について毎年確認しましょう！

町内会で災害発生直後の行動をみんなが理解し、協力することが大切です！



◎袋路での安全な避難確保に取り組みましょう！

行き止まり路地の二方向避難の可能性についてみんなで考えましょう！

安全な避難確保のため、日頃から路地に物をおかないように適正な管理に努めましょう！



◎高齢者等の見守り活動に取り組みましょう！

日頃から高齢者等に声掛けしましょう！

災害時に自力で避難困難な方がおられないか確認を行い、災害時の避難支援について予め決めておきましょう！



◎町内に立地する学校や事業所と災害時の協力を検討しましょう

町内に立地する学校、結婚式場、事業所と災害時の協力を検討しましょう！



◆今、地震が起こった
ら！！！

●地震直後の行動

1. 自分の身を守る
2. 家族に声掛け無事を確認
3. 避難の際に電気ブレーカーを落としガスの元栓を閉鎖
4. 周囲の安全を確認して、隣近所と無事を確認し合います

●地域の集合場所へ

すぐに避難所へ向かうのではなく、地域の集合場所に集まります

●みんなで災害に対処する

1. 声を掛け合って安否確認
2. 閉じ込められた人を力を合わせ、助け出します
3. 火事が起きていたらみんなで消火
4. みんなで避難所へ

■個人及び町内会の防災まちづくりの取組をチェックしましょう！



一人ひとりが、町内会が日頃から備え、それぞれ、防災まちづくりの取組のチェック項目を確認しておきましょう。



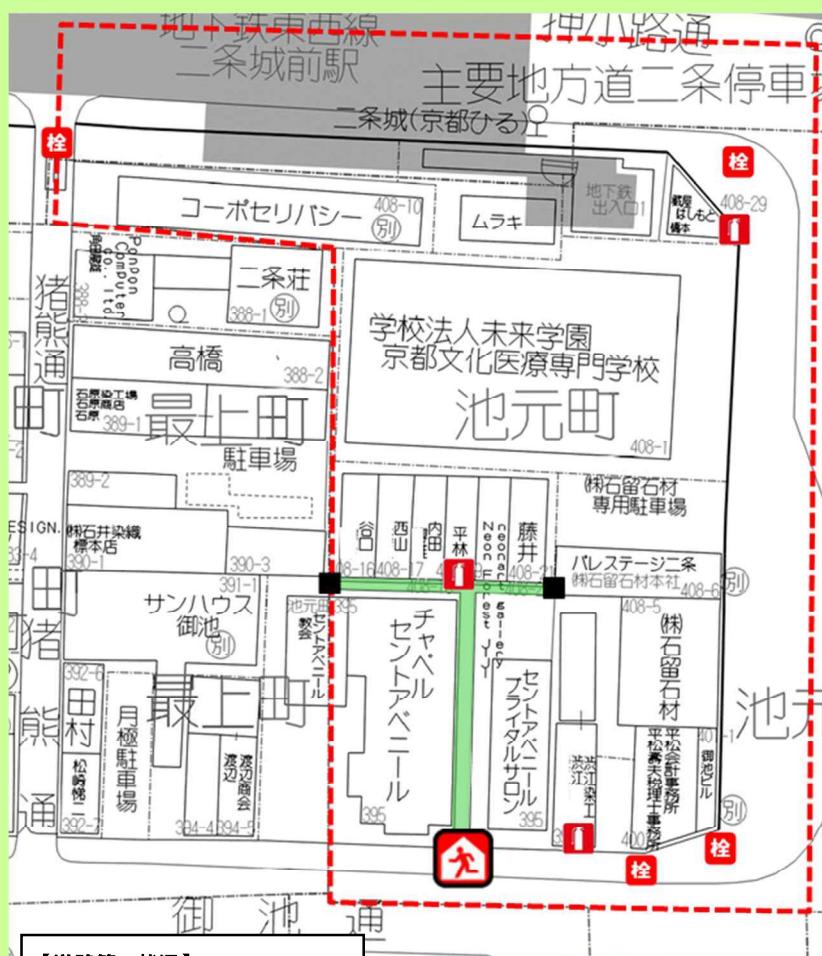
●個人の取組チェック項目

- 日頃から災害への備えをこころがけます
- 自宅の耐震性や防火性能をチェックします
- 緊急時の家族間の連絡方法を決めておきます
- 町内会の防災活動に積極的に協力します
- 路地や道路の適正管理に取り組みます
- ◆日頃から家族で災害の備えを確認します

●町内会の取組チェック項目

- 町内会の防災訓練を定期的に実施します
- 学区の防災活動に積極的に参加します
- 集合場所、避難路の安全性を確認します
- 日頃の防火活動をみんなで取り組みます
- 防災まちづくり計画の点検作業を行います
- ◆町内会の集まりの際に防災取組を確認します

池元町の防災まちづくりに関わる現況図



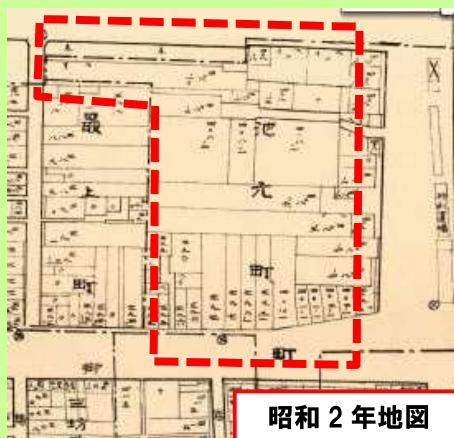
【道路等の状況】

- 幅員4m以上の道路
- 幅員1.8m~4m未満の道
- 幅員1.8m未満の道
- 袋路(突き当りが建物)
- 袋路(突き当りが塀)
- 袋路(突き当りがドア)
- トンネル路地

【緊急時のための設備】

- 地域の集合場所
- 消火器
- 栓 (hydrant)

●毎年、町内の防災まちづくりの現況をチェックして改善状況を確認しましょう！



昭和2年地図

●防災まちづくりの視点で、まちの変化を見守りましょう！



教業学区防災まちづくり計画の取組（平成30年4月～令和3年3月）一防災まちづくりニュースの発行①

（平成30年7月発行）

教業防災まちづくりニュース

1

2018.7

はじめに

一教業学区で平成30年度から防災まちづくりの取組を開始します

京都市では、平成24年に「歴史都市京都市における密集市街地対策等の取組方針」及び「京都市細街路対策指針」を策定しました。また、平成27年4月から地域の主体的な防災まちづくり活動を継続的に支援する「京都市密集市街地・細街路における防災まちづくり推進制度」が開始されました。

今後、教業学区における地域による防災まちづくり活動の取組について、この支援の対象地区として、平成30年度から3年間を目途に活動支援を受けることとなりました。

これを絶好の機会としてとらえ、大震災に備えて家族の命と家財を守るために、学区全体で「防災のまちづくり」について考え、計画を策定し、できるところから具体的に取り組んでいく予定です。

■今年は（12月を目途に）、防災まちづくり計画策定に向けた準備段階の取組を進めます

教業学区の防災まちづくりは3年間を目途に取り組みますが、まずは学区のみなさんの防災まちづくりに対する課題共有に取り組みます。以下のような流れで取組みを進める予定です。

【取組1－課題認識】一先進事例や防災まちづくりの取組の必要性を認識します（6月～7月）

全国的な災害に強いまちづくりの先進事例及び市内の先進地区の取組に学び、教業学区での防災まちづくりの取組の必要性（緊急性）を認識する取組を進めます。

【取組2－課題共有】一教業学区が抱える防災上の課題を認識します（8月～11月）

まち歩きにより、身近な路地や町内会単位でまちを見直し、まちの課題を発見します。その確認したまちの防災上課題を学区全体に丁寧に広報し、学区全体の課題として共有します。

【取組3－計画策定の取組へ】一防災上の課題を解決に向けた計画策定の取組を開始します（12月）

一学区全体および町内会単位の防災まちづくり計画策定の取組を開始します。そのための学区及び町内会単位の防災まちづくり計画策定のための組織づくりを進めます。

■6月17日（日）に「防災まちづくり先進事例学習会」を開催しました

防災まちづくりの最初の取組として、全国の防災まちづくりを指導されています室谷豊裕先生をお迎えし、「大震災に学ぶいま、私たちがここに、備えることは」とのテーマで先進事例学習会を開催しました。

学習会には約60名の方にご参加頂きました。これがねら、教業学区の防災まちづくりを進めるにあたっての基本姿勢を学びました。先生の当日のF-b「参加者の熱い視線に教業学区が『防災まちづくり大賞』受賞の予感を感じました」と評価頂きました。

先生の講演録は次回にまとめておりますので、是非、熟読頂き、これからのお取組への理解を深めてください。（京都新聞6月18日の朝刊で学習会記事が掲載されました）

■防災上の課題発見に向け、まち歩き等を行いますので、ご理解、ご協力お願いします

教業学区の防災上の課題発見に向け、自主防災会委員や京都市、専門家等で、まち点検のための事前調査を随時進めています。特に学区内多く見られます路地内で調査するがありますので、ご理解、ご協力お願いします。現在の予定では6月末に役員メンバーで、7月には自主防災会委員の方とともにまち歩きを行い、教業学区の防災上課題の認識に努め、課題共有を図る予定であります。

（平成30年12月発行）

教業防災まちづくりニュース

3

2018.12

■11月11日（日）に『平成30年度教業学区総合防災訓練』を実施しました

11月11日（日）に平成30年度教業学区総合防災訓練を実施しました。8時30分地震発生→家族の安否確認→黄色のハンガチの掲示→町内の集合場所に集合→避難所への流れで避難しました。今回の防災訓練には134人の方が参加されました。

第1部では自主防災会・消防団による「劇「震えスッポン」」の上演が行われ、地震発生時の家庭で発生した災害を教訓を演じた寸劇に会場から笑いと拍手が飛び響きました。その後、京・まち・ねっこと石本氏から「教業学区の防災まちづくり活動の取組」報告がありました。

第2部は3グループに別れて訓練を体験しました。「非常持出袋に入れる物について」のコーナーではアンケート結果では5割以上の方が準備されていませんが、参加者の方にはとても好評でした。

訓練開催中に給食給水訓練の準備が始められ、最後に参加者全員で「炊き出し訓練」として豚汁を味わいました。

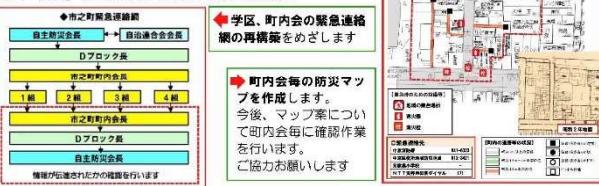
今年は大きな災害が頻発しています。毎年防災訓練を積み重ねることで、少しでも災害に備える心と体の準備に努めましょう！

●3グループに別れて、「非常に出袋の改修」「応急救援訓練」「水害対策訓練」に取り組みました



◆今年度の教業学区防災まちづくり計画は「町内会ごとの防災課題の確認・共有を基本に進めます！」

5月から教業学区防災まちづくり計画の取組を開始しています。これまでまち歩きによるまち点検を行い、各町内会にご協力頂き、各町内会が抱える防災面の課題について確認の取組を進めています。今年度はまずは「町内会ごとの防災課題の確認・共有」を目指しますので、ご協力ください。



（平成30年7月発行）

教業防災まちづくりニュース

2

2018.9

■9月9日（日）に「第2回防災まちづくり学習会」を開催しました

第2回防災まちづくり学習会では、平成24年8月に発生した宇治市志津川地区的土砂災害に関する教訓について、梅原孝さんに講演して頂きました。この土砂災害でお一人の方が亡くなられ、災害発生以前からの集落の取組、災害発生時の具体的な状況、そしてその後の集落の取組について学び、教業学区でも7月の集中豪雨、台風21号の猛威を体験しましたが、改めて「想定内の災害」への心構えを再認識しました。【講演録は次頁参照】



その後、教業学区で9月から取組を開始した防災まちづくり調査の現時点の状況報告があり、昭和初期と現在の地図を比較して教業学区のまちの変遷とともに、各町内に古くからの畠地が多く残る現状を確認しました。

その後の意見交換ではハザードマップのこと、7月の集中豪雨時の避難準備の情報伝達などの課題提起があり、今後教業学区で町内会を基本とした防災まちづくりの検証を進めることを確認しました。

■集中豪雨、台風、大雨雲と大災害が頻発しており、もう想定外のことではなくなりました

6月17日に第1回防災まちづくり学習会を開催して以降、6月18日に大阪北部地震、7月に西日本集中豪雨、9月5日に台風21号の猛威、9月7日に北海道地震と大災害が頻発しています。もう想定外の災害ではなく、今起きるかもしれない「想定内」を認識することが大切です。



■7月6日15時5分に教業学区に避難準備が発令されました

7月の集中豪雨の際、教業学区に対して「鴨川・高野川の水害の恐れで、6月15時5分に『避難準備・高齢者等避難開始』」が発令されました（市庁報資料）。自主防災会では5月22時34分に中京区防災防災担当から避難開始開設の指示があり、23時に開設しました。

避難準備の指示多くの方が「避難の準備してください」と受け止めているようですが、基本は「■避難に時間をするひと（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）と支援者は避難を開始しましょう。■その他のひとは、避難の準備を整えましょう」ということです。

今回の学習会参加者アンケート・調査結果では、29人のうち、23人の方は避難準備を知っていたとの回答ですが、実際の避難者はゼロでした。今後、避難報告等の連絡方法について再確認が必要です。



（令和元年10月発行）

教業防災まちづくりニュース

4

2019.10

【11月17日（日）実施『令和元年度教業学区総合防災訓練』についてご案内！】

【各家庭・町内会で取り組む地震発生直後の行動を確認しましょう】

令和元年の教業学区総合防災訓練は11月17日（日）に実施しますが、今回の訓練では「各家庭及び町内会での初動措置訓練の実施に重点を置いた防災訓練」とします。防災訓練の初動措置訓練について下記のような流れでの訓練を実施しますので、ご理解、ご協力お願いします。

■各家庭の初動措置訓練から避難所（小学校）までの避難訓練の概要

8:30	8:30～8:40	8:45～9:15	~9:30
訓練地震発生	家庭で初動措置訓練	町内会で初動措置訓練	避難訓練
①自分の身を守る ②家族の安否を確認 ③家の確認 ④町内会の集合場所へ	①自分の身を守る ②家族の安否を確認 ③家の確認 ④町内会の集合場所へ	①集合場所に集合 ②互いの安否確認 ③救助・消火活動 ④町内会の集合場所へ	①小学校に到着 ②避難人数を報告 ③本部で避難状況を集計して、避難完了

■今回の防災訓練での訓練内容と流れ

家庭及び集合場所での訓練内容です

◆家庭においての初動措置訓練内容

- ①自分の身を守る
- ②家族の安否を確認する
- ③家の始末、ガスの始末、電気の始末を確認する
- ④非常持出袋を確認する
- ⑤家族全員が無事であれば「黄色のハンガチを玄間に提示して、集合場所に集まる」

◆集合場所で初動措置訓練内容

- ①自主防災部長は各組長報告をもとに避難人数の集計を行う
- ②避難されていない方、黄色のハンガチのない世帯の安否を確認する
- ③閉じ込められている人等をみんなで助け出す
- ④火事が起きたいたら、火の小さい内にみんなで消火する
- ⑤自主防災部長は各家庭での初動措置訓練実施を確認する
- ⑥自主防災部長は一同となって小学校への避難を説明する

地震が起きた後の行動（出典：京都市防災危機管理情報館）

地震直後の行動

- ①まず最初に自分の身を守ること
- ②安全が取まったら、家族や近所の人と声を掛け合って無事を確認
- ③同時に火事が起きていいか確認
- ④火が出ていたら大声で近くの人に知らせ、火の小さいうちに消し止める
- ⑤避難する前に、瓦礫のブレーカーを消して、ガスの栓を閉鎖する



地域の集合場所

- ①集合場所は被害状況を確認し、力を合わせて災害に對応するための場所です
- ②大きな災害が起きた時にいっただん町内会の集合場所に集まります。
- ③取り残されている人がいるか、声を掛け合って安否確認を行います。
- ④閉じ込められている人や下敷きになつた人々をみんなで助けます。
- ⑤火事が起きたら、火の小さい内にみんなで消火しましょう。
- ⑥状況に応じて、子どもやお年寄り、障がいのある人は先に避難所へ誘導します。





三坊大宮町



大文字町



倉本町



上一文字町



三坊猪熊町



神泉苑町



瓦師町



姉西町



姉大宮町西側



姉大宮町東側



上巴町



樽屋町



姉西堀川町



姉猪熊町



上八文字町



最上町



俵屋町



織物屋町



市之町



門前町



池元町



教業防災まちづくり計画

令和3年3月

■発行：教業学区自主防災会